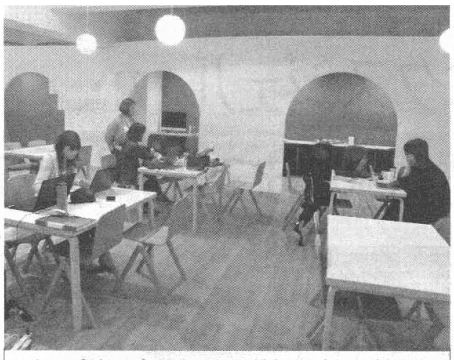
日　本　経　済　新　聞

2016年（平成28年）6月28日（火曜日）
35面 掲載

女性の創業支援 県内活発

上田市、上田商工会議所などの官民で組織する上田市創業支援プラットフォームは8月から女性の創業支援に着手する。創業スクールを開設し、創業後の悩みや不安を相談できる体制も整える。2014年度から女性起業家育成の講座を開く任意団体、ココノチカラ（塩尻市）も講座を充実させるなど、県内で女性の力を活用する動きが活発になっている。



ループサンパチはハナラボ海野（上田市）で子育て中の女性の就労や起業を支援している

上田の官民 割安講義や個別相談

塩尻の団体 営業など少人数指導

創業スクールは1回2時間半の平日コース（10回）と同5時間の休日コース（5回）を設ける。それぞれ30人を7月中に公募し8～10月に開講。各コースはテキスト代込みで受講料を5000円に抑え、託児サービスも用意して子育て中の女性も参加しやすくする。

中小企業診断士や税理士を講師に、創業の心構え、ビジネスプランの作成、マーケティングや会計の基礎、営業・販売計画の立て方などを指導。最終回は受講者がビジネスプランを発表する。創業に踏み切った受講者には、中小企業診断士や公認会計士、先輩起業家が個別相談に応じる。

同プラットフォームは14年に市と商議所、市内3カ所でコワーキングスペースを運営する一般社団法人ループサンパチ（上田市）、産学官連携支援の一般財団法人浅間リサーチエクステンションセンター（AREC、上田市）で設立した。

上田商議所に創業支援の相談に訪れた女性は15年度で30人に上り、前年度からほぼ倍増。「女性の創業意欲が高まっているのを受けて支援に乗り出す。創業スクールは来年度も続けたい」と、プラットフォーム事務局の尾島彩インキュベーションマネージャーは話す。

ループサンパチは商店街の空き店舗を改装し託児スペースも設けた「ハナラボ海野」で子育て中の女性の就労を支援している。企業からデータ入力やデザインの仕事を受注し、女性グループに発注する仕組み。スキルアップの講座も開いて昨年は5人が就職し、今後は起業も支援する。

一方、ココノチカラは起業を目指すか起業間もない女性を対象に営業手法やIT（情報技術）活用などを指導する「スターターズサロン」を今年度も松本市と塩尻市で開く。今回から4～6人の少数精鋭コースとし講義の密度を高める。

卒業生は17人に上り、整理収納コンサルタントや手作りパンの販売などで事業を拡大している。卒業生を対象に毎月「スターターズコミュニティー」を開き、新たな目標の設定や悩み事相談の場に活用している。百瀬みどり代表は「地域経済の活性化には女性の起業が有効」と語る。

安曇野市は創業する女性と35歳未満の男性を対象に、入件費などの運営費を上限50万円まで補助する制度を15年度に創設。初年度は女性4人が塾や結婚相談所の創業に利用した。今年度も9月末まで申請を受け付ける。

帝国データバンクの調べでは、長野県の女性社長比率は3月時点で5・6%と47都道府県中で下から2番目だが、女性就業率は全国でも高い。「きっかけができれば女性の起業は増える」と尾島氏はみている。